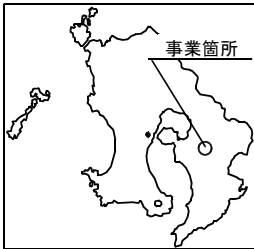
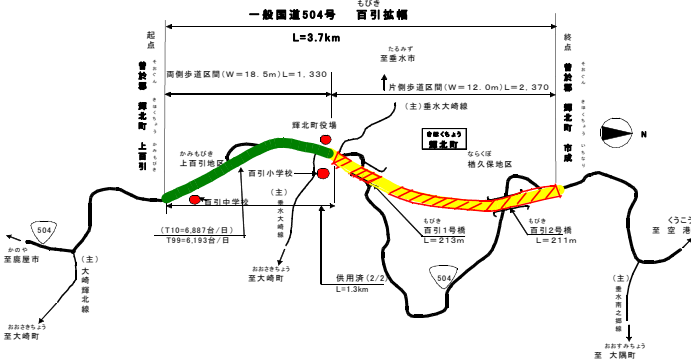


再評価結果（平成18年度事業継続箇所）

担当課：道路局 国道・防災課
担当課長名：鈴木 克宗

事業名 一般国道504号 <small>もびき</small> 百引拡幅 <small>かごしま かのや きほくちようかみもびき</small> 起終点 起点：鹿児島県鹿屋市輝北町上百引 <small>かごしま かのや きほくちよういちなり</small> 終点：鹿児島県鹿屋市輝北町市成	事業区分 一般国道	事業主体 鹿児島県	延長 3.7km										
事業概要 百引拡幅区間の現道は、連続した見通しの悪い急カーブや急勾配区間が連続している。また、当区間は役場・商店街・小中学校が隣接しているが、歩道が整備されておらず、路肩幅員も確保出来ないことから、安全で円滑な交通の確保を図り、災害時における緊急輸送道路の確保や、広域交流の促進及び地域振興の発展に資する目的として道路整備を行う。													
H8年度事業化		H 年度都市計画決定 (H 年度変更)											
H8年度用地着手		H11年度工事着手											
全体事業費 74億円		事業進捗率 58%											
供用済延長 1.3km		計画交通量 6,800台/日											
費用対効果分析結果	B/C (事業全体) 1.7 (残事業) 3.8	総費用 (残事業)/(事業全体) 30/76億円 (事業費：28/73億円) (維持管理費：2/3億円)	総便益 (残事業)/(事業全体) 114/128億円 (走行時間短縮便益：97/110億円) (走行費用減少便益：14/14億円) (交通事故減少便益：3/3億円)										
基準年 平成17年													
感度分析の結果													
事業の効果等 <ul style="list-style-type: none"> ・円滑なモビリティの確保（第二種鹿児島空港へのアクセス向上 時間短縮 2～3分） ・国土・地域ネットワークの構築（日常生活圏旧鹿屋市，九州自動車道，大隅広域公園アクセス向上） ・道路の防災対策・危機管理の充実（第一次緊急輸送道路，現道の防災点検要点検箇所の解消） 他5項目に該当													
関係する地方公共団体等の意見 国道504号は緊急輸送道路に指定されているほか，日常生活圏の鹿屋市や鹿児島空港へのアクセス向上など，地域交流促進が図れるため地元は早急な整備を望んでいる。													
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等 特になし													
事業の進捗状況、残事業の内容等 用地買収については97%完了し1.3kmの部分供用を行っている。また，現在バイパス区間の開削工及び橋梁施工中。													
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等 全体としては計画どおりに進んでいるものの，市街地区間の一部の地権者で代替地確保（従来同等の市街地部希望）に期間を要した。今後はBP部の整備を順次進めていく予定である。													
施設の構造や工法の変更等 特になし													
対応方針													
対応方針決定の理由 以上状況を勘案すれば当初から事業の必要性重要性は変わらないと考えられる。													
事業概要図													
	<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <th colspan="2">凡 例</th> </tr> <tr> <td style="background-color: #cccccc; width: 20px;"></td> <td>供 用 中</td> </tr> <tr> <td style="background-color: #808080; width: 20px;"></td> <td>事 業 中</td> </tr> <tr> <td style="background-color: #e0e0e0; width: 20px;"></td> <td>再 評 価 箇 所</td> </tr> <tr> <td style="background-color: #d3d3d3; width: 20px;"></td> <td>うち供用中</td> </tr> </table>	凡 例			供 用 中		事 業 中		再 評 価 箇 所		うち供用中		
凡 例													
	供 用 中												
	事 業 中												
	再 評 価 箇 所												
	うち供用中												

※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。